

平成24年度 企画展 I

# 郷土羽生

～資料から見る歴史と文化～

平成24年9月30日(日)～10月28日(日)

会場 羽生市立図書館・郷土資料館展示室 開館時間 9:00～17:00

休館日 毎週火曜日・10/25(木) 入館料 無料

## 利根川に育まれたムラ 屋敷裏遺跡

羽生市大字名にある屋敷裏遺跡は、利根川の右岸に営まれたムラ跡です。縄文時代の中頃（約4500年前）～中・近世にかけての竪穴住居や井戸・お墓など、この地に生活していた人たちの痕跡が見つかりました。また、当時の人たちが使っていた様々な形の土器などの生活道具がたくさん出土しました。

右の写真の須恵器は、古墳時代後期（約1450年前）の竪穴住居から発見されました。一番背の高い脚付長頸壺は、20m離れた2軒の住居から脚部と壺部が別々に発見されました。古墳時代、須恵器はたいへん貴重な容器です。屋敷裏遺跡から出土した須恵器は、本来古墳の中に副葬品として納められるものです。何故、住居から出土したのかは「謎」ですが、永明寺古墳に代表される村君古墳群を築いた有力豪族との関わりが想像されます。



屋敷裏遺跡出土 須恵器

講演会

「屋敷裏遺跡 —利根川に育まれたムラ—」

講師：山本靖氏(埼玉県埋蔵文化財調査事業団)

日時：10月20日(土)午前10時～11時半

場所：羽生市立図書館 視聴覚室

申込：羽生市立郷土資料館へ電話で(申込順)

表紙写真提供 公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

主催：羽生市立郷土資料館

共催：公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

# 羽生略年表

原始・古代

中世

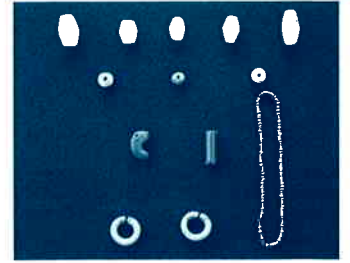
近世

近現代  
現代

- 旧石器時代 谷田遺跡、内谷遺跡でナイフ形石器採集
- 縄文時代前期 大道遺跡（石器集中区からフレーク出土）
- 縄文時代晩期 村君地区で土器片採集
- 弥生時代中期 発戸遺跡（土面など採集）
- 古墳時代前期 屋敷裏遺跡（方形周溝墓から壺出土）
- 古墳時代中期 大道遺跡（住居跡からS字状口縁台付甕など出土）
- 古墳時代後期 永明寺古墳、保呂羽堂古墳が築造される
- 8世紀前半頃 羽生、尾崎、新郷古墳群が形成される
- 9世紀前半頃 屋敷裏遺跡（住居跡から須恵器脚付長頸壺など出土）
- 1254(建長6) 小松古墳群1号墳（玉類・耳環など出土）
- 1536(天文5) 大道遺跡（住居跡から須恵器蓋など出土）
- 1566(永禄9) 小須賀地区で墨書の須恵器坏採集
- 1574(天正2) 板石塔婆が建てられる
- 1590(天正18) 広田直繁と木戸忠朝が小松の末社に三宝荒神御正体を奉納する
- 1610(慶長15) 広田直繁と木戸忠朝は正覚院に門徒の還俗を禁じる書状を出す
- 1614(慶長19) 羽生城主大久保忠隣が改易となり、羽生城廃城
- 1628(寛永5) 新郷の街道に松を植える（勘兵衛松）
- 1660(万治3) 伊奈半左衛門忠克が葛西用水を開削
- 1781(天明元) 天明年間より青縞の集荷地として発展する
- 1843(天保14) 徳川斉昭が日光参詣の折、本陣須永家で和歌を書き残す
- 1868(明治元) 羽生陣屋が完成間もなく官軍に焼き払われる
- 1869(明治2) 川俣関所が廃止
- 1872(明治5) 羽生学校が創立
- 1878(明治11) 掘越寛介らが民権結社「通見社」を結成
- 1889(明治22) 町村制の施行により、羽生市域はおおむね1町8村に改編される
- 1903(明治36) 羽生駅開業
- 1909(明治42) 田山花袋、小説『田舎教師』を発表する
- 1913(大正2) 羽生町に電気が供給される
- 1921(大正10) 北武鉄道（今の秩父鉄道）が羽生町から忍町まで開通
- 1929(昭和4) 昭和橋が完成する（木橋）
- 1944(昭和19) 東京西神田国民学校児童が羽生の各寺院に集団疎開
- 1954(昭和29) 羽生市市制施行
- 1959(昭和34) 羽生市に千代田村（三田ヶ谷・村君）が加わる
- 1962(昭和37) 昭和橋が完成する（鉄橋）
- 1966(昭和41) 宝蔵寺沼ムジナモ自生地が国指定天然記念物となる
- 1968(昭和43) バギオ市（フィリピン）と姉妹都市を締結
- 1982(昭和57) 金山町（福島県）と友好都市を締結
- 1986(昭和61) 図書館・郷土資料館がオープンする
- 1992(平成4) 東北自動車道羽生インターチェンジ開設
- 1994(平成6) デュルビュイ市（ベルギー）と姉妹都市を締結
- 2010(平成22) 第1回 ゆるキャラさみっとin 羽生開催



発戸遺跡出土土面（複製）



小松古墳群1号墳出土土装身具



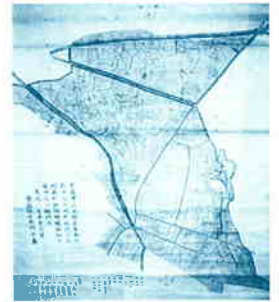
瀬戸鉄袖四耳壺



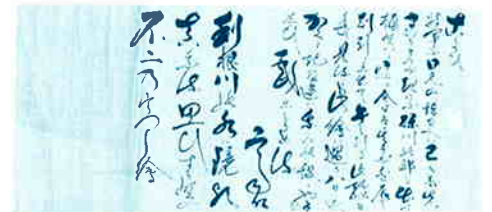
阿彌陀如来坐像（小松神社蔵）



上新郷新田の  
陽居獅子頭



喜右衛門新田耕地図



徳川斉昭の和歌



掘越寛介



羽生市市章



ムジナもん

参考：『埼玉県史』「羽生市史」

協力者・協力機関（順不同 敬称略）

須永保、山崎克己、岡戸正憲、内田肇、掘越美恵子、中島利治、小松神社、永明寺、正覚院、清浄院、下村君鷲宮神社、埼玉県立文書館、茨城県立歴史館、埼玉県立さきたま史跡の博物館、埼玉県立嵐山史跡の博物館